

有限会社桜ヶ丘商店

業種	卸売・小売業	事業所所在地	宮崎県延岡市	資本金	3,000千円
		売上高	～10,000万円	従業員数	2名

				被承継者 (左)	
山野内 勉		82歳		※承継時	
				承継者 (右)	
井口 千代美		50歳		※承継時	
事業承継を行った時期			被承継者と承継者の関係		
2020年11月			子ども		
承継前の主たる事業の内容			承継前の主たる事業の課題		
酒、雑貨小売業			・既存商品・サービスの売上高の拡大 商圏にスーパーやコンビニができて売上が減少した。		

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
当初は、別の場所で創業しようと考えていた。ところが、母親の急死により被承継者（父）が経営する店を手伝うことになった。その間、資格取得やセミナー等で事業計画を立てるうちに事業承継して今の店と自分のやりたい事業を両立できると判断した。	承継の時期、店舗のレイアウト、品揃え。	高齢になるにつれて、夫婦でどちらかが店番をできなくなったらやめようと考え、そういう話を良くして、そういう日が来るのが不安だった。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	・スムーズに引き継げた ・新しい卸先と取引開始	既存店舗の売上が維持できるかどうか、宣伝広告の手法などに詳しくないことが不安だった。

これに一番苦労した！
カテゴリー別の売上や5か年の事業計画を作成することに苦労した。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
金融機関（信用金庫）	信用金庫と商工会議所で行うスタートアップ支援センターで第二創業に必要な知識や事業プラン作成、事業承継の事例紹介や承継計画を作るバトタッチセミナー、事業承継ネットワークの面談等サポートしていただいた。
いつから相談？	
承継実行の 5年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

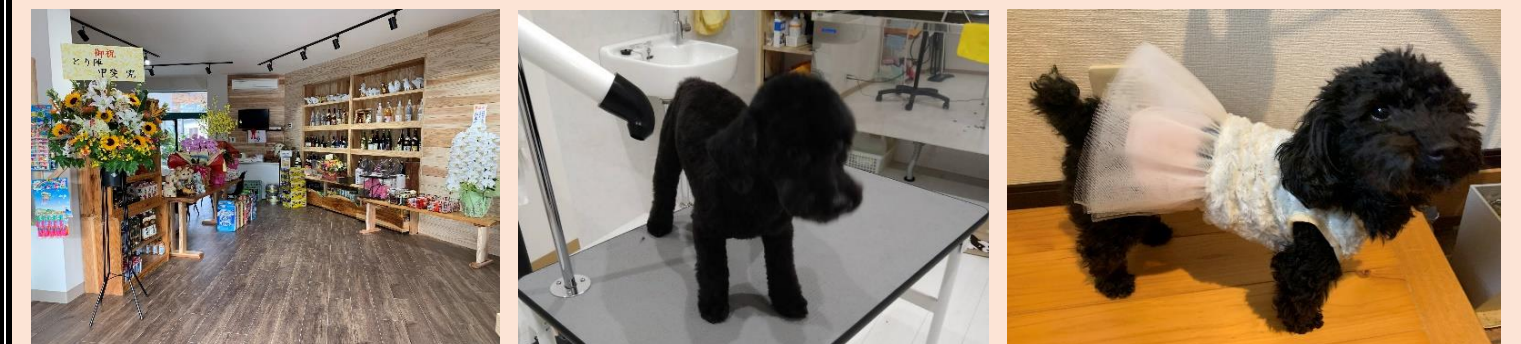
洋裁と犬に関連した技術を生かす、地域基盤小売店の新展開

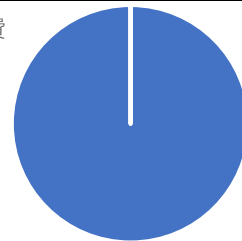
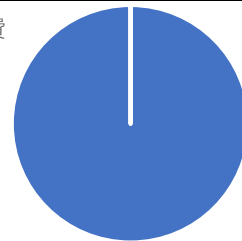
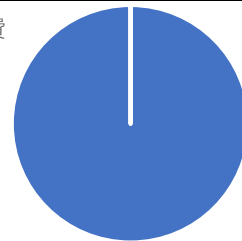
経営革新等に係る取組の内容	役務の新たな提供の方式の導入
---------------	----------------

●当社は、生活雑貨及び酒類食料品を販売する小売店であるが、競合するスーパーやコンビニにより売上が減少していた。そこで、被承継者を手伝っていた承継者は、事業承継を機に、既存店舗内に承継者の資格や技術を活かした犬に関連する新たな事業を立ち上げる計画を立てた。

●そのため本補助金を活用して、現在の店舗を食料品小売業部門とドッグショップ事業部門（トリミング、ホテル、服製造等）に、壁を作って区分するための改装工事を行った。これにより、ドッグショップ事業部門では、承継者が中心となって、成犬・シニア犬向けのトリミング、一時預かり（ホテル）をはじめとした各種サービスの提供、オーダーメイド服の受注制作・販売を開始した。また、従来からの小売業部門は、高齢者層にも買い物がしやすい陳列に変更して売り場面積を縮小した。

●これまでの既存事業（小売店）の顧客でもある地域の高齢者をターゲットに、顧客の飼い犬のケア事業を行うことで、顧客（飼い主）と犬の両方の生活を支援し、地域の基盤となる小売店を目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳				
近隣地域の住民にとってライフライン的な存在となっている。	<table border="1"> <tr> <td>■ 設備費</td> <td>経費の主な使い道</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設備費：店舗改装工事費</td> </tr> </table>	■ 設備費	経費の主な使い道		設備費：店舗改装工事費
■ 設備費	経費の主な使い道				
	設備費：店舗改装工事費				

認定経営革新等支援機関の名称：延岡信用金庫			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

当社の事業承継に対する補助金の提案、事業承継計画のブラッシュアップ、電子申請の伴走支援、補助金のつなぎ及び自己負担分の資金支援等をサポートしていただいた。

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	この補助金申請で6か年の事業スケジュールを立てたので、それを前倒して進めていくこと。
売上高 15 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
自分が起業した頃とは商売の環境が異なってきたので、後継者が現れたら思い切って任せて自分の得意な分野をフォローしてあげたら良いと思います。	ひとりで悩み続けるより、いろんな人に相談してコミュニケーションの取りやすい支援者を見つけると道が見えてきます。事業承継セミナーなどに行き実際に承継した事例を聞くと、自分の悩みや課題を解決する参考になります。